

はじめに

公益財団法人国際交通安全学会では、毎年、交通に関わる社会的関心事をとりあげ、多様な視点から研究調査を行っております。

ブックレットのタイトルとなっている「睡眠呼吸障害と交通安全」については、二〇二二年より研究プロジェクトを展開しており、同年九月には、奈良県トラック協会にて講演会

を実施しました。さらに、より多くの方々と問題意識を共有し、意見を交換する場として、二〇一三年二月に奈良、五月に東京にて、同テーマの市民シンポジウムを開催いたしました。その中の一つ、東京で行われたシンポジウムの内容をまとめたものが、本ブックレットです。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）は、自覚症状が少なく、日本国内に潜在的な患者は数百万人いると言われています。ただし、きちんと検査を受けて、早期発見・早期治療を行えば、改善することができます。病気でもありません。

本ブックレットが、こうしたSASについての関心を高めるきっかけになると同時に、交通事故を未然に防ぎ、健康で、安全な社会を築く一助として貢献できればと心から願っております。

二〇一三年九月